

## II 事業の概要

2016年度に行われた学校法人及び設置学校における事業の概要は、次のとおりです。

### 1 重点施策の推進

#### (1) 中期計画（第1期）の実施～長期ビジョンの実現に向けて

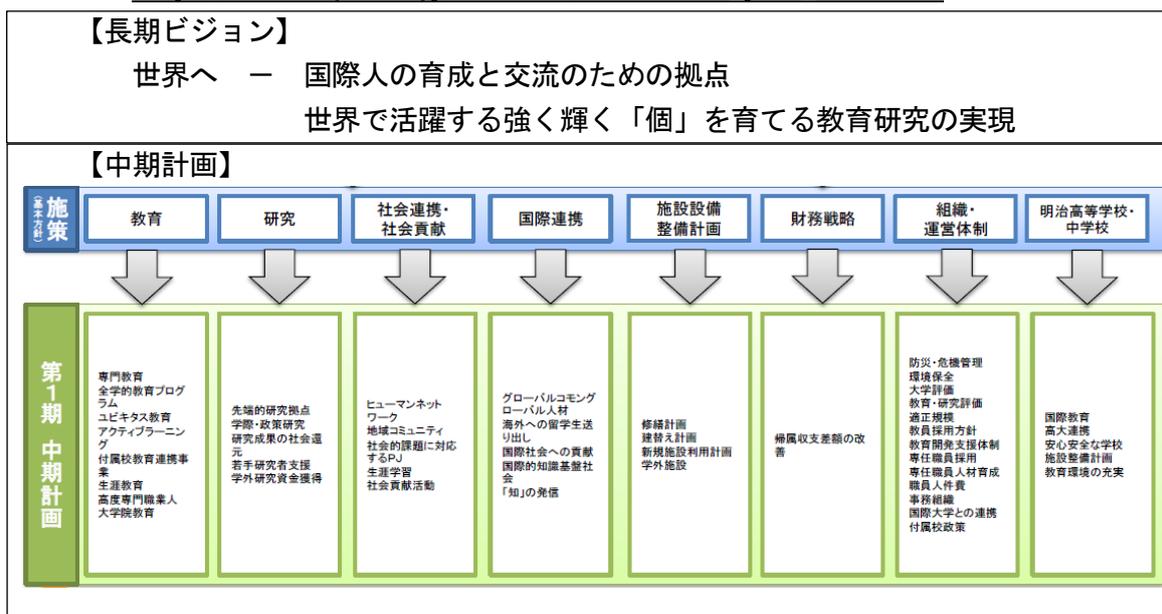
学校法人明治大学中期計画（以下「中期計画」という。）は、「学校法人明治大学長期ビジョン」を具体化するための中期（4年間）の計画を定めたもので、2014年度から2017年度までの計画を「中期計画（第1期）」として策定しています。

2016年度も、中期計画（第1期）の各プランを事業計画や予算編成に反映させ、各所管において着実に実行に移しました。

また、年度末には第2期中期計画（2018年度～2021年度）の策定にも着手しました。

本学構成員が中期計画を共有し、想いを一つにすることによって、引き続き長期ビジョンの実現を目指します。

※ [http://www.meiji.ac.jp/chousaka/middleterm\\_plan\\_ver1.html](http://www.meiji.ac.jp/chousaka/middleterm_plan_ver1.html)



#### (2) キャンパスグランドデザイン～大学全体の地区計画・教育研究施設設備計画

安全かつ高度な教育・研究活動を確保するため、各キャンパスからの要望や本学の財政状況等を踏まえ、2015年度に今後10年間を見据えた大学全体の施設建設計画に係る優先順位を策定しました。今後はこの計画に基づき、教育施設、研究施設、学生環境の整備を推進します。あわせて、既存施設の修繕、改修を適切に実施していきます。

#### (3) 戦略的広報活動の展開～アップトゥデイトな情報発信

広報戦略本部を中心に、教育研究活動及びこれに付随する諸活動に関する情報等を広く学外に発信するための広報戦略を策定するとともに、それに基づく最重点項目を

設定し、本学のブランドを高める広報活動を推進しました。「明治大学広報」、広報誌「明治」等の紙媒体のほか、ホームページ、SNS等各種媒体を通じた情報発信、メディア・記者に対するプレスリリース等により、「旬（しゅん）」な明治大学の情報を学外に発信しました。

#### ア 10言語対応の海外向けPRサイト「ALL ABOUT MEIJI」を公開

日本への留学を検討している海外の学生などに向け、本学の長をわかりやすく伝えるPRサイト「ALL ABOUT MEIJI～数字でみる明治大学 (Meiji in Numbers)」を公開しました。英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語など10言語に対応し、本学の魅力を世界へ発信しています。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/allaboutmeiji/>

#### イ 在学生向け情報サイト「MEIJI NOW」を開設～インナー広報の強化を目指す！

学生向け情報発信として、紙媒体の「M-style」を定期発行していましたが、発信の頻度を高めることやWebでの発信を高めることを目的に、新たな情報サイトをオープンしました。

本学ならではのスポーツ・文化・研究活動など、多様なジャンルの取り組みを発信し、明大生の愛校心、連帯感、個性の育成に貢献することを目指しています。

※ <http://www.meijinow.jp>

#### ウ 「マスコミ交流会」を開催

本学関係者とマスコミ関係者との交流や情報交換を目的とする第23回「マスコミ交流会」を7月に駿河台キャンパスで開催しました。第1部では、米国大統領選挙をテーマとした基調講演とパネルディスカッションが行われ、第2部では、本学関係者とマスコミ関係者の名刺交換・交流会を開催しました。

### (4) オール明治で前へ～ステークホルダー（校友会・父母会）との連携

#### ア 校友会との連携

##### (ア) おかえりなさい！～第19回ホームカミングデー開催

10月、駿河台キャンパスにおいてホームカミングデーが開催され、約4,100名の校友やその家族等が来場しました。

##### (イ) 第52回全国校友鳥取大会

11月、全国の校友会支部、韓国の海外支部から約900名の校友が創立者岸本辰雄生誕の地、鳥取に参集し、旧交を温めるとともに、新たな絆も深めました。

##### (ウ) 地方出身者対象「つなげ！紫紺の“たすき”」奨学金

校友会は、「校友から明大生へ、襷（たすき）を繋（つな）ぐように、皆さんを応援したい」という願いをこめて、「つなげ！紫紺の“たすき”」奨学金を設けています。この奨学金は、学費等以外にも生活費を必要とする地方出身者に奨学金を給付することにより、地方からの入学を促進することを目的とした給付型奨学金（返還不要）です。なお、採用された学生は、校友会が主催・後援する式典、講演会等に参加しました。

※ <http://meiji-shikon.net/>

#### イ 父母会との連携

#### (ア) 父母会総会・父母懇談会

明治大学連合父母会が主催した父母会総会・父母懇談会が5月から7月にかけて、全国57地区で開催されました。懇談会では、学生生活、学業成績、就職等に関して、父母と大学担当者との間で熱心な個別相談が行われました。

#### (イ) 父母対象の就職懇談会

首都圏11地区の父母会は合同で、学部3年生の父母を対象とした就職懇談会を10月に本学アカデミーコモンで開催しました。父母約1,100人が参加した懇談会では、父母の不安を少しでも和らげ、子息・子女への効果的な支援とコミュニケーションを促すために、本学の就職支援体制の説明、専門家による講演会、内定者(4年生)による就職活動体験報告が行われました。

### (5) 多くの方々からの熱いご支援～募金活動の展開

#### ア 寄付の実績

2016年度に本学が受けた寄付金の総額は、4億6537万3985円でした。寄付金の主な内容については次のとおりです。

#### (ア) 未来サポーター募金

奨学、国際化、研究、スポーツ及びキャンパス整備の5つの資金(使途)から構成される募金制度です。主な募集対象者は校友、教職員、一般篤志家の個人・団体・法人で、寄付金の用途を寄付者自身が上記5つの中から選択することができるのが特徴です。

2016年度は2878件、約2億454万円の寄付を賜りました。なお、これには寄付による書籍等の販売収益からなる「本棚募金」の寄付金約371万円も含まれています。

7月には各資金における前年度の活用結果をまとめた「活動報告書」を寄付者の方へお送りし、寄付金の活用結果を報告しました。

10月のホームカミングデーでは、現金寄付の受付を行い、各資金のスタッフが寄付者の方から直接寄付金をお預かりしました。また、顕彰制度に基づき対象となる寄付者の方をお招きしました。

その他、寄付に関する情報や寄付者芳名等を掲載した「明治大学広報募金特別号」を9月と1月に発行し、全国の校友へ向けて送付しました。

#### (イ) 教育振興協力資金

本学の教育・研究の充実・発展に必要な経費として活用するための資金であり、主に学部生、大学院生、専門職大学院生、法科大学院生、明治高等学校・中学校の父母を対象に募集しています。

2016年度は331件、約4087万円(前年度比約270万円の増)の寄付を賜りました。

#### (ウ) その他の寄付金

501件、約2億2000万円の寄付を賜りました。主な内訳は、学術研究奨励寄付金に約6395万円、奨学基金に約2070万円、校友会奨学金に約2000万円などです。

#### イ 寄付者顕彰制度

本制度は、本法人に対する寄付金の総額に応じた顕彰を行うべく、2015年度に新しく制定されました。対象者は本法人が募集する各種寄付制度への寄付の累計額が100万円以上の個人で、7月には累計額500万円以上の方にお越しいただき、寄付者交流会を開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/bokin/index.html>

## (6) 教育の情報化推進と情報環境整備

### ア メディア授業の充実

2016年度は資格課程、経営学部、情報コミュニケーション学部、司書講習（社会人対象）において実施されました。

また、専門職大学院会計専門職研究科では、2016年度からメディア授業を導入し、6科目開講しました。

### イ デジタルコンテンツの発信

2016年度もフォーラム・セミナー・イベント等を収録の上、大学HPや iTunes Uを通じて積極的に公開しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/ubiq/contents/index.html>

## (7) 付属校・系列校政策

法人の健全な運営及び教育研究活動の永続的な発展のためには、学生の「数」と「質」の確保が不可欠です。学生の「数」と「質」の確保に向けた方策のひとつとして付属校・系列校政策が重要である、との認識を共有し、付属校・系列校強化推進について具体的に検討を行ってきました。推進にあたっては、学校種、立地、規模、設置形態等の課題について慎重に見極めながら、あらゆる可能性を視野に入れた検討を継続しました。

## (8) 系列法人「国際大学」との連携～世界トップクラスのグローバルユニバーシティを目指して

本学の系列法人である学校法人国際大学とは、相互の建学の理念を尊重の上、法人間の連携及び教育研究活動の包括的な交流と連携・協力を推進することにより、両法人の目指す「世界トップクラスのグローバルユニバーシティ」の実現に向けて、相互に事業計画及び教育研究活動の支援を行っています。

### ア 系列法人協議会の開催

両法人が合同で設置する協議会において、円滑な系列法人間の運営を行うため、連携・協力事業に関する事項の協議及び情報の共有化を図りました。なお、2017年度末に協定期間満了を迎えるにあたり、これまでの本法人からの多様な支援を踏まえ、今後の連携について両大学で協議することを確認しました。

※ 国際大学HP <http://www.iuj.ac.jp/ja/>

## 2 教育改革と教学運営体制の整備

### (1) 大学ガバナンス

#### ア 新学長の就任

2016年4月1日付けで、土屋恵一郎（法学部専任教授）が就任しました。（任期は4年。）

## イ 教学運営体制の強化

学長の下に配置された副学長8名（総合政策担当，教務担当，学務担当，研究担当，社会連携担当，広報担当，国際交流担当，スーパーグローバル大学創成支援（SGU）担当）に加え，キャンパス整備担当副学長，スポーツ振興担当副学長及び男女共同参画・障がい者少数者支援担当副学長を新たに設け，合計11名となりました。これら副学長と学長室専門員が連携・協力することによって，多岐にわたる教学関連の諸課題に取り組んでいます。

### (2) 総合的教育改革の推進

『教育力』の飛躍に向けた総合的教育改革の第一歩として，2017年度から1コマ100分を基本とする新たな授業時間割や2学期4ターム制を全学一斉に導入することになりました。これにより，学修の目的に合わせた柔軟な授業設計や学生の海外留学が容易となり，本学のさらなる教育力向上が期待されます。

新時間割では，現在「1コマ90分」の授業時間を「1コマ100分」とし，7時間制を6時間制に，授業期間を15週から14週に短縮します。また，100分の授業時間を，50分ごとの「モジュール」という時間単位に区分します。

新たな学年暦では，1学期14週の新な授業期間を7週ごとに2つのタームに区分し，春学期と秋学期の「2学期4ターム制」とします。この学年暦を活用することにより，1ターム=クォーター期間（7週）で完結する授業が可能となり，学生が海外留学に挑戦できる環境を得ることも可能になります。

本学では，単位制度に則った授業時間を確保するための議論を2012年からスタートし，これを契機に本学の教育力を飛躍的に向上させる抜本的な改革に繋げる「総合的教育改革」を取りまとめました。この総合的教育改革は，文部科学省に採択された本学のスーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業構想の基盤にもなっており，新たな授業時間割と学年暦は，その第一歩であり礎となるものです。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/news/2016/6t5h7p000001187h.html>

### (3) 本学の求める教員像及び教員組織の編成

#### ア 教育開発・支援センターの取り組み～新任教員研修

本学の沿革や教育理念，教育の心構えなどについての理解を促し，教員自身の自己啓発意識を高めることを目的に，今年度採用された教員を対象とした「新任教員研修会」を開催しました。大学入試や就職支援状況等について詳細に説明するとともに，「心の病を抱えた学生の理解と対応」をテーマに人権講演会も行われました。

### (4) 内部質保証とIR (Institutional Research) 環境の整備・推進

#### ア 自己点検・評価

2016年度自己点検・評価（2015年度報告書）は，自己点検・評価全学委員会委員長である学長から評価委員会委員長である理事長に12月に提出されました。これを受け，学外有識者等も加わる評価委員会を1月に開催しました。評価結果は，本学ホームページに公開しています。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/index.html>

また，自己点検・評価全学委員会では，2014年度大学評価結果等を基に「第3期改善アクションプラン（3カ年計画）」を策定し，2015年度から2017年

度にかけて計画的に改善を図ることとし、その進捗を管理しています。課題一覧はホームページに公開しています。

※ [http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/action\\_plan/index.html](http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/action_plan/index.html)

#### イ 大学評価（認証評価）

専門職大学院ガバナンス研究科は、公益財団法人大学基準協会に、2016年度公共政策系専門職大学院認証評価を申請し、2017年3月に「適合」の認定を受けました。認定の期間は、2021年度（2022年3月31日）までです。

※ <http://www.meiji.ac.jp/mugs2/accreditation/accreditation.html>

また、法科大学院は、公益財団法人大学基準協会に、2013年度認証評価結果に対する改善報告書を提出し、2017年3月に「改善報告書検討結果」を受理しました。検討結果を踏まえ、引き続き改善に努めます。

#### ウ スーパーグローバル大学等事業における外部評価

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業を推進するため、自己点検・評価書をもとに外部評価を実施し、2017年1月に評価結果を受理しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/gakucho/info/6t5h7p00000mnwkh-att/6t5h7p00000mnwkz.pdf>

#### エ IRデータベースの整備、分析レポートの提供

2016年度は、IR運営委員会において、既存のIRデータベースを拡張し、学生の入学から卒業までのデータを一元化した「学生総合情報データベース」を整備しました。同データベースを利用した各種分析レポートは、学部長会懇談会での報告やレポートサンプル集（IRデータカタログ）の発行を通じて紹介しました。

なお、学部等からの要望に応じた分析レポートを作成・提供し、学部等の教育改善や意思決定を支援しています。

また、同委員会では、2016年11月に山形大学と「第10回EMIR勉強会」を共催し、さらに2017年1月には九州大学・茨城大学と『継続的改善のためのIR/IEセミナー』を共催するなど、大学間連携によりIRに関する研修を行いました。

### 3 教育関連活動

#### (1) 学部・大学院の整備等

##### ア 大学院の専攻設置及び廃止

2017年度から、大学院の専攻を次のとおり変更することを決定しました。

(ア) 大学院理工学研究科建築・都市学専攻、情報科学専攻、数学専攻及び物理学専攻の設置並びに同研究科建築学専攻、基礎理工学専攻及び新領域創造専攻の廃止

(イ) 大学院先端数理科学研究科先端メディアサイエンス専攻及びネットワークデザイン専攻の設置

##### イ 学部、大学院の開設等準備

開設等に向けて必要な以下の準備を行いました。

(ア) スポーツ科学部（仮称）の設置検討

(イ) 急速に発展・変化していく世界に対応するためには、もう一度、本学の建学

の精神を確認し、教育研究領域をさらに強化する必要があります。そのための新たな学部・学科構想の議論を進めました。

## (2) 意欲ある学生の安定的な確保

### ア 時代の要請に対応する入試改革

高大接続改革の動向に的確に対応できるよう、入学者選抜の改革について検討を進めました。

また、経営学部では、2017年度入学試験（2017年4月入学）より、一般選抜入試の一部において英語資格・検定試験を活用する「英語4技能試験活用方式」の試験を実施することになりました。

## (3) 大学院の強化と充実

今後の大学院改革に向け、教育研究の充実及び人材養成機能強化のため、取り組むべき重点課題について検討を進めました。

また、専門職大学院会計専門職研究科では、2016年度から一部の科目においてメディア授業を導入し、学生は自身のスケジュールに合わせて自宅や自習室などでも学修することができるようになりました。

## (4) 図書館、博物館の充実

### ア 4キャンパスの図書館

本学の教育・研究支援の中核機関であるとともに、生涯学習時代における社会貢献の拠点として活動を行っています。

駿河台キャンパス・中央図書館は、2016年4月には来場者が1,300万人を突破しました。

※ <http://www.lib.meiji.ac.jp/>

### イ マンガ図書館

マンガ、アニメ等の資料を収集し、これを公開することを目的として設置され、米沢嘉博記念図書館（東京都千代田区猿楽町）及び現代マンガ図書館（東京都新宿区鶴巻町）をもって構成されています。2016年度も広く社会に公開（有料）するとともに、企画展やトークイベント等を開催しました。

(ア) 「アズ」50年展～マンガ同人の半世紀～

(イ) 東村アキコ原画展

(ウ) 「りぼん」のふろく展

※ [http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa\\_lib/index.html](http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/index.html)

### ウ 博物館

本学の教育・研究成果を社会に還元する学内共同利用機関として、学内外の諸機関等と連携した展覧会、公開講座等多彩な教育・普及活動を展開しており、年間来館者は7万人を超えています。

2016年度は、展示会「備前焼の新たな価値創造」、「江戸から東京へ—錦絵に見る日本近代の曙」等を開催しました。

その他、博物館機能の拡充・強化の一環として、「ICTミュージアム（仮）」の実現に向けてそのデジタル・コンテンツの充実・強化に取り組みました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/museum/index.html>

## エ 平和教育登戸研究所資料館

登戸研究所の研究施設であった建物の保存・活用を目的として設立された「平和教育登戸研究所資料館」は、戦前、登戸研究所が行った活動を記録として、本学における歴史教育・平和教育・科学教育の発信地を成し、平和に関する啓発と教育の推進を行いました。2016年5月には、開館から6年で来館者数が延べ5万人に達しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/noborito/index.html>

## (5) 大学間連携による教育の充実

### ア 順天堂大学

本学と順天堂大学は、教育・研究活動の交流と連携の推進を目的とした大学間交流に関する「包括協定」を2015年12月に締結しました。2016年度は、図書館の相互利用をはじめ、以下の連携事業を実施しました。

(ア) 順天堂大学スポーツドクターによる講演会

(イ) 順天堂大学医学部附属順天堂医院・天野篤病院長による明治高校での講演

(ウ) リバティアカデミーで包括協定締結記念講座「江戸・明治期の医学・医療の歴史—歴史を読み解く新たな視点—」(全6回)の開催

### イ 聖マリアンナ医科大学

2013年度に大学間交流に関する包括協定を締結した聖マリアンナ医科大学との共同研究会を2016年5月に実施しました。今回の研究会では、現在実施されている共同研究の成果及び展望について両大学の教員・学生に周知を図ることや、各大学が有する研究ニーズ(需要)とシーズ(種)を共有することで、新たな共同研究の発足を促すことを目的に、初めて実施されました。

### ウ 国際大学

系列法人である国際大学とは、以下の連携事業を実施しました。

(ア) イベント・ガイダンス等

a 本学大学院合同進学相談会に国際大学ブース設置

b 国際大学インターナショナルフェスティバルに本学学生等が参加

(イ) 教員人材交流

両大学で「教員人材交流に関する覚書」を2015年度に締結し、2016年度は、明治大学の教員が国際大学において講義等を実施しました。

(ウ) 国際機関等との連携による「国際協力人材」育成プログラム

2016年度も、立教大学及び国際大学と連携して、全て英語により展開する実践的教育プログラムを実施し、国際協力・国際公務分野を目指す人材育成に取り組みました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/gakucho/hric/index.html>

## (6) 附属校との連携

附属校である明治高等学校との高大連携事業について見直した結果、生徒の志望学部選択に係る早期の支援を図ることを目的に、2016年度から「高大連携講座」を現在の3年次の設置から志望学部決定前の2年次に変更しました。

## 4 研究関連活動

学長を機構長とする研究・知財戦略機構（以下「機構」という。）は、研究活動を統括し、世界のトップユニバーシティを目指し、世界的水準の研究を推進するため、研究拠点の育成、研究の国際化の推進、成果の社会還元、を目的としています。

2016年度においても機構の下に設置されている「研究企画推進本部」（研究政策の企画・立案から実施）及び「研究活用知財本部」（産官学連携活動を推進）を両翼とし、さらに附属研究機関・附属研究施設等において研究活動を推進しました。

各研究機関等における2016年度の主な研究活動は次のとおりです。

### (1) 競争的研究資金の獲得

獲得した主な学外の競争的研究資金は次のとおりです。加えて、研究所研究費、大学院研究科共同研究、新領域創成型研究・若手研究、国際共同研究等があり、研究活動の推進・活性化を図っています。

※ <https://www.meiji.ac.jp/research/promote/present.html>

#### ア 文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」

平成28年度私立大学研究ブランディング事業（タイプB）に本学の事業名「Math Everywhere：数理科学する明治大学—モデリングによる現象の解明—」が選定されました。この事業は、全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学等を文部科学省が選定し、経常費・施設費・設備費を一体として重点的に支援するものです。

#### イ 2016年度「科学研究費助成事業」

本件の採択件数は新規と継続分をあわせて289件、金額は約6億2,933万円で過去最高を記録しました。

文部科学省が発表した「平成27年度科学研究費助成事業の配分について」のランキングによると、本学は、新規と継続を合わせた採択件数では全国約1,300の研究機関のうち第54位、採択額では全国53位となりました。

また、「細目別採択件数上位10機関（過去5年の新規採択の累計数）」では、本学は13分野でランクインしており、「数学基礎・応用数学」の分野では本学初の第1位となりました。

### (2) 各インスティテュート、研究センターの活動

#### ア 数理科学の国際拠点～先端数理科学インスティテュート（MIMS）

MIMSは、社会との関わりを重視した数理科学の発展・普及を図ることを目的に、社会と自然に係る現象の数理科学的解析を課題とする国際的研究拠点です。

2016年度は、「高校生のための先端数理科学見学会」や「日本数学会 異分野・異業種研究交流会2016」等のイベントを開催しました。

※ <http://www.mims.meiji.ac.jp/>

#### イ クローンブタで医療に貢献～バイオリソース研究国際インスティテュート（MUIBR）

MUIBRは、機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）として設立され、農学、特にAnimal Biotechnologyを基盤に、次世代の医療技術開発に貢献する生物資源の創出・維持・活用を行うことを目的とした国際的研究拠点です。

2016年度も、ヒトとの様々な類似性を持ったブタをプラットフォームとしたトランスレーショナルリサーチにより、未来の医療を実現化する研究開発を推進しました。

※ <http://muiibr.com/>

#### ウ 世界平和と人類の福祉への貢献を目指して～国際総合研究所（MIGA）

MIGAは、国際的な諸問題を研究課題とし、その解決策を探求及び立案することにより、国際社会に対して政策を提言していく国際的研究拠点です。シンポジウム及び特別講演会の開催や多数のコラムの発行など、精力的に活動を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/miga/index.html>

#### エ 黒曜石研究センター

日本で唯一の黒曜石と人類史に関する研究施設である黒曜石研究センター（長野県小県郡長和町）は、機構の附属研究施設として「ヒト—資源環境系」という概念の下に、各種研究プロジェクトを立ち上げ、黒曜石を含む多様な資源に対する人類の働きかけのダイナミズムに関する研究を推進しています。12月にはシンポジウム「土器を掘る—土器研究と圧痕法のいま、そして未来」を開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cols/index.html>

#### オ 植物工場基盤技術研究センター

経済産業省の平成21年度先進的植物工場施設設備費補助金事業の補助金を受けて設立されたもので、植物工場に関する研究開発・人材育成の全国8拠点の一つです（私立大学では本学のみ）。7月には「施設園芸・植物工場展2016（GPEC）」に出展し、研究成果を紹介しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/plant/index.html>

#### カ 地域産学連携研究センター（生田連携センター）

本センターは、本学が有する技術シーズ・知的資産を有効活用し、川崎市をはじめとする神奈川県における新技術・新事業の創出、地域中小企業を育成する産学連携促進事業の実施、起業・経営セミナー等の開催、地域中小企業者・住民への施設の貸出し等の地域連携交流を促進することを目的としています。

2016年度も、積極的に経営支援セミナーや補助金申請書作成セミナーを開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cii/index.html>

#### (3) 明治大学×日本IDDMネットワーク 学術研究奨励寄付金の贈呈式を開催

本学は、1型糖尿病の患者を支援する認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク（佐賀県佐賀市）から、同法人が支援する「バイオ人口膵島移植プロジェクト」に基づき学術研究奨励寄付金2,000万円を贈られました。

今後、学術研究奨励寄付金に基づき「医療用ブタの作製に必須となるオペ室や無菌飼育室の設備整備に関する研究」を実施します。

#### (4) 世界知的所有権機構（WIPO）と協力協定を締結

本学と世界知的所有権機関（World Intellectual Property Organization, WIPO）は、知的財産法等に関するデータベース（WIPO Lex）の充実に向け、協力協定を締結しました。世界知的所有権機関とこの分野に関する協力協定を締結したのは、我が国

初となります。今後は、WIPO Lex の充実に向けた取組を進めていくとともに、本学学生も含めた人的交流を図り、人材育成を図っていきます。

#### (5) 世界に向けた研究発信

##### ア 理工学部・黒田教授の開発したロボットが羽田空港での実証実験に参加

理工学部・黒田洋司教授が開発したロボット（SQ-1H）が羽田空港でのロボット実証実験に参加しました。黒田教授は、本学の研究成果を基にベンチャー企業 SEQSENSE（シークセンス）株式会社を設立し、同社から羽田空港実証実験プロジェクト（公募型）に応募しました。その結果、同社を含めた17社が採択され、本プロジェクトに参加することが決定しました。

##### イ 「ベスト錯覚コンテスト」で世界2位に

「The Best Illusion of the Year Contest 2016（第12回ベスト錯覚コンテスト）」において、先端数理科学インスティテュート・杉原厚吉特任教授による作品「Ambiguous Cylinder Illusion（多義柱体錯覚）」が2位を受賞しました。

#### (6) 研究活動の適正化に向けた研究不正防止体制の整備

文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」を踏まえ、「研究費の適正管理に関する規程」、「研究活動の不正行為にかかわる通報処理に関する規程」等を改正・整備しました。

## 5 国際化の推進

2016年度も、世界に羽ばたき、社会と世界をリードする人材教育の実現を目指して、国際化に関する取り組みを積極的に推進しました。

#### (1) 「大学の世界展開力強化事業～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～」に採択

文部科学省「大学の世界展開力強化事業～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～」のタイプB「ASEAN地域における大学間交流の推進」に、本学構想「CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造」が採択されました。

#### (2) 「スーパーグローバル大学創成支援」事業（SGU）

本学の取り組み「世界へ！MEIJI8000 -学生の主体的学びを育み、未来開拓力に優れた人材を育成-」が、2014年に文部科学省スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」のタイプB「グローバル化牽引型」に採択されました。これを受け、2016年度も学生の主体的な学びを育み未来開拓力に優れた人材を育成し、「主体的に学び、考え、行動し、多様な価値観の中で、新たな未来を切り拓くグローバル人材（卒業生毎年8,000人）」を世界に送り出していくべく、積極的に事業を推進しました。

#### (3) 文部科学省による大学教育改革の支援プログラム

文部科学省「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」のプログラムに採択された以下の3件の取り組みについて、引き続き2016年度も事業を展開しました。

##### ア 大学間連携共同教育推進事業（明治大学・立教大学・国際大学による共同申請） （国際協力人材育成プログラム）

※ <http://www.meiji.ac.jp/gakuchu/hric/index.html>

(ア) 立教大学及び国際大学との共同授業科目の展開

(イ) トリックアートで紛争下のシリアを体感

(ウ) 本学から、モチベーション・パス、キャリア・パス合わせて5名修了

**イ 大学の世界展開力強化事業－ASEAN諸国等との大学間交流形成支援（日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダープログラム）**

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/aseancenter/>

(ア) ASEAN地域との短期学生交流プログラムの実施

(イ) タイの学生向け遠隔授業の実施

**ウ 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業（タイプB：特色型）（政治経済学部留学促進プログラム）**

(ア) 実践的英語力強化プログラムの実施

(イ) 留学フェアの開催

**(4) 協定校・協定機関の拡充**

海外の大学等との協力・協定については、2016年度も積極的に新たな協定を締結し、2017年3月末時点での協定校・協定機関数は、学部間等協定も含め、48カ国・地域、325大学・機関・部局等となりました。

**(5) 外国人留学生の受け入れ・学生の海外送り出し強化**

2016年度の外国人留学生受け入れ数は1,894名（学部：1,066名，大学院：485名，短期プログラム：343名），海外送り出し留学生数は1,503名（長期：496名，短期：1,007名）となりました。

優秀な海外からの留学生を獲得するために、入口から出口までの一貫した支援政策に基づき、Web出願，日本語eラーニングにおけるコンテンツの充実，戦略的広報のためのWebページの活用，魅力あるカリキュラムの整備，就職支援プログラムなどを展開しました。

海外留学をめざしている学生には、留学カウンセリング，経済的支援，留学説明会・報告会など，多様な支援を実施しました。

**(6) 海外拠点**

国際連携を積極的に推進するため，海外拠点としてマレーシア事務所，北京事務所及び明治大学アセアンセンター（タイ・バンコク）を設けています。

「明治大学アセアンセンター」は2012年度に採択された文部科学省「大学の世界展開力強化事業－ASEAN諸国等との大学間交流形成支援」事業の「日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダープログラム」の展開拠点として活用されているほか，昨年度に引き続き遠隔授業，短期学生交流プログラムなどを実施しました。

**(7) 外国人留学生等交流イベント**

**ア Cool Japan Summer Program の実施**

国際連携機構は，海外在住の大学生・大学院生を対象に，マンガやアニメ，音楽，ファッション，ハイテクノロジー，和食といった日本の「現代文化」や「伝統文化」について，多様な講義やワークショップ，フィールドトリップを通じて学ぶ短期留

学プログラム「Cool Japan Summer Program 2016」を実施しました。今年で7回目となる同講座では、世界10カ国・地域から25名の学生が参加し、「オタク文化と秋葉原」、「ファッションと若者文化」などの講義に加えて、太神楽などのワークショップやアニメスタジオ見学などのフィールドワークも行われました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/cooljapan/index.html>

#### イ 日本語短期研修プログラム（夏期・冬期）の実施

明治大学日本語教育センターは、夏と冬の2回にわたって「日本語短期研修プログラム」を開催しました。本プログラムは、講義としての「日本語授業」及びフィールドワークとしての「見学・体験」で構成され、本学の日本人学生がサポーターとして参加者を全面的にバックアップし、「活きた日本語」を使いながら交流を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/mjlp/index.html>

#### ウ Law in Japan Program の実施

法学部は、日本の法と法制度を英語で学ぶ外国人向け夏期短期プログラム「Law in Japan Program」を開催しました。世界14カ国の学生・社会人24名が、講義とフィールドトリップで構成されたプログラムを2週間集中的に受講し、日本の法と法制度について学びました。2016年度の新たな取り組みとして、学部からの参加者に対し、正規科目として2単位の付与を開始しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/law/index.html>

## 6 社会連携・社会貢献

### (1) 震災復興支援

2016年度も、学生ボランティアによる東日本大震災における被災者支援や震災の風化を防ぐことを目的に、震災復興支援センターにおいて様々な支援活動を行いました。

また、2016年4月に発生した熊本地震についても、被災された学生への支援及び各種支援活動を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/gakucho/reconstruction/index.html>

#### ア 熊本県益城町の中学生に折紙工学の「夢講義」を開催

被災地の中学生に向けた教育支援活動として、「自分の未来を考える『夢講義』」を熊本県益城町で開催しました。講師は、折紙工学の第一人者である萩原一郎特任教授が担当し、「ものづくりに新しい価値を創造する計算科学&折紙工学」と題した講義と、実習の二部構成で行われました。

#### イ 校友会熊本県支部とマンドリン倶楽部が熊本地震被災地で復興支援の特別演奏会を開催

2017年3月5日に上益城郡益城町、7日には阿蘇市において、熊本地震被災地の住民を中心とした被災者の方々を招待して、無料での特別演奏会を開催しました。2日間で約1,400名の聴衆が集まりました。

#### ウ 「映画『新地町の漁師たち』上映会&対談の開催

東日本大震災の風化防止と、原発事故による風評被害解決の一助となることを目

的に、ドキュメンタリー映画『新地町の漁師たち』の上映会を和泉キャンパスで開催しました。映画上映後には、同映画の監督を務めた山田徹氏と福島県新地町の漁師4人による対談が実施され、漁業の本操業に向けた準備を進めていることや、監督が映画に込めたメッセージ、復興の現状と想いなどについて話題が上がり、被災者と来場者との間で意見交換が行われました。

## エ ホームカミングデーにおける「震災復興支援プロジェクト」

第19回ホームカミングデーにおいて、「熊本支援」「東日本大震災『風化防止』『防災・減災』」の3つをテーマに、写真展や発表、参加型ワークなどを開催し、本学が取り組んでいる復興支援を紹介しました。

## オ 東日本大震災復興支援活動報告会

それぞれの報告を通して活動内容・方法の共有を図り、さらには復興支援にかかわっている学生・院生間の絆を深めることを目的に、12月に「2016年度『東日本大震災復興支援活動報告会』～支援活動を通じて何を学び、何を得たか～」を開催しました。

## (2) 社会貢献を進めるために～社会連携機構

本学における教育研究活動を通じた地域連携活動の支援、生涯学習機会の提供等を推進することによって、地域社会の活性化及び社会の発展に寄与することを目的として設置されている機関が社会連携機構です。社会連携機構は、生涯教育の充実を図るリバティアカデミー及び地域連携を推進する地域連携推進センターから構成されています。

## ア 生涯学習の拠点～リバティアカデミーの展開

リバティアカデミーは、公開講座を中心とした生涯教育及び資格取得等職業能力の再開発・向上を図るための教育活動の役割を担っています。2016年度も「本学の教育・研究成果」を継続的・体系的な公開教育プログラムとして産業社会や地域社会に提供し、大学の保有する様々な知的資産とその環境を広く市民に開放することを通して「開かれた大学」としての姿を追求してきました。駿河台、和泉、生田、中野キャンパス及び黒川農場の5拠点で、教養・文化、ビジネス、資格・実務、語学、特別企画、オープン講座等、年間435講座を開講し、受講者数は2万名を超えました。

※ <https://academy.meiji.jp/>

## イ 地域連携推進センターの展開

地域連携推進センターは、本学が国・地方公共団体、産業界、地域住民等からの幅広い要請に応え、地域社会と連携して地域人材の育成や地域課題の解決を図ることにより、本学における教育研究の発展と地域社会への貢献に寄与することを目的としています。創業者出身地3地域（鳥取県、山形県天童市、福井県鯖江市）やキャンパス設置自治体をはじめ、様々な自治体等と連携して公開講座を開催するなど、地域活性化のための連携事業を展開しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/social/japan/chiikirenkei.html>

### (ア) 鳥取市と連携協力に関する協定を締結

本学は、鳥取市との間に「連携協力に関する基本協定」を締結しました。鳥

取市が有する歴史・伝統・文化・自然並びに本学が有する知的資産及び人材を有機的に活用して、相互の交流及び発展を図ることを目的としています。

#### ウ 学生参加の社会連携活動

##### (ア) 学生派遣プログラムの実施

社会連携機構は、創立者3名の出身地・地域及び長野県野沢温泉村にて、地域の人々と交流・連携しながら、地域活性化の提言を行う課題解決型学生派遣プログラムを実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/social/6t5h7p00000fa9fm.html>

##### (イ) 第10回記念大会お茶の水JAZZ祭の開催

音楽の街・御茶ノ水の秋を彩る「お茶の水JAZZ祭」は第10回を迎え、音楽を通じた千代田区地域連携活動の柱として地域に定着しています。本学校友の宇崎竜童氏（音楽家）・阿木耀子氏（作詞家）夫妻が毎回総合プロデューサーと総合司会をつとめています。名だたるアーティストたちの奏でるサウンドを、満員の来場者が堪能しました。当日の運営は宇崎氏を道場主とする「明大町づくり道場」の学生約40人が担いました。

※ <http://www.jazzsai.com/>

##### (3) 「女性のためのスマートキャリアプログラム」2015年4月スタート

本学初の履修証明プログラム「女性のためのスマートプログラム」が2015年4月にスタートしました。文部科学省が推奨するこの「履修証明制度」は、大学が人材養成の目的に応じて必要な科目を編成し、体系的な教育プログラムを構築することで、主として社会人向けに多様な分野の学習機会を提供するものです。本プログラムは「リバティアカデミー」において、女性の仕事復帰や社会での新たな活躍を支援するビジネスプログラムとして開設されました。なお、本プログラムは文部科学省の「職業実践力育成プログラム」(BP)に認定されています。

※ <https://academy.meiji.jp/smartcareer/>

##### (4) 環境保全に配慮した大学の運営

2016年度も、環境保全にかかわる教育活動の一環として、教職員・学生へ環境問題・環境保全にかかわる情報とともに、本学の環境保全活動を紹介し、関心を高めるため、「ECO ACT MEIJI 明治大学環境展」を4キャンパスで開催しました。パネル展示、資料配布、学内エコツアー（リバティタワー内の環境配慮施設見学会）などを実施し、地球温暖化、エネルギーなど、私たちを取り巻く環境問題や、本学の環境保全への取り組みについてわかりやすく解説しました。

## 7 国家試験指導体制及び国家試験対策の強化・充実

本学では国家試験指導センター（法制研究所，経理研究所，行政研究所）を設置して資格取得及び職業能力の向上を志す本学学生及び卒業生を支援し，社会に有用な人材を育成しています。

また，学校法人明治大学法務研究所では，本学卒業生の組織である明治大学法曹会の全面協力のもと，本学法科大学院修了生の司法試験合格を支援するために，受験指導を実施しました。

2016年度の各試験の合格者数は、司法試験36名、国家公務員総合職試験27名、公認会計士試験86名と、大学別合格者数は上位にランクされました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/netsc/index.html>

## 8 入学試験関連

### (1) 2017年度入学試験志願状況

一般入学試験の志願者数は、一般選抜入学試験60,701人、全学部統一入学試験19,740人及び大学入学センター試験利用入学試験33,066人の合計113,507人となり、11年連続で10万人を超えました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/index.html>

### (2) イベント関係等

#### ア オープンキャンパス2016

受験生等に向けてキャンパスを開放し、大学生活の一端を体験してもらう「オープンキャンパス」を、駿河台・生田・中野の3キャンパスで8月に計7日間開催し、多数の高校生やその保護者らが本学を訪れました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/event/opencampus/index.html>

#### イ 出張オープンキャンパス～明治大学フェスタ！の開催

2016年度も全国6都市（札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡）において、出張オープンキャンパス「明治大学フェスタ！」を開催し、入試説明会のほか、地元出身の現役明大生による相談コーナー等を設け、本学の魅力を伝えました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/event/festa/index.html>

### (3) 「志願したい大学」7年連続1位に

リクルート進学総研が7月に発表した「進学ブランド力調査2016」で、本学が関東エリアの「志願したい大学」で7年連続1位を獲得しました。さらに、属性別の内訳でも「男子」が7年連続1位、「女子」が3年連続1位、「理系」が4年連続1位となりました。

### (4) 新たな入学試験の導入

2018年度入学試験から、一般選抜入試において商学部では英語4技能試験利用方式、国際日本学部では英語4技能試験を活用して英語の得点に換算（当日の試験免除）する制度を導入することを決定しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/shogaku/topics/2016/6t5h7p00000mjk2u-att/6t5h7p00000mjk3c.pdf>

※ <https://www.meiji.ac.jp/nippon/info/2017/6t5h7p00000nvj2j-att/6t5h7p00000nvj31.pdf>

## 9 卒業・修了の状況

本学は、130年を超える歴史と伝統の中で、創立以来54万人を超える卒業生を輩出してきました。

2016年度は、各学部の卒業生6,959名（うち9月卒業193名）、大学院の修了生は博士前期課程610名（うち9月修了6名）、博士後期課程43名（うち9月修了1名）、専門職学位課程222名（うち9月修了43名）、高等学校・中学校の卒業生399名（高等学校237名、中学校162名）となりました。

## 10 学生支援

### (1) 奨学金の充実

将来の有為な人材として期待される学生が修学に専念できる教育環境を整えるため、奨学金制度に基づき、給費奨学金・貸費奨学金等各種奨学事業を実施しました。

また、災害に対する奨学金として、熊本地震の被災者への給費型奨学金による経済支援（明治大学災害時特別給費奨学金）を実施しました。

### (2) ボランティアセンター（VC）

4キャンパスに設置されているボランティアセンターは、本学の学生に対するボランティア活動の支援を全学的に推進することにより、学生の社会性及び自主性を涵養して、社会に有用な人材を育成することを目的としています。

駿河台キャンパスでは「防災」、和泉キャンパスでは「福祉」、生田キャンパスでは「サイエンス」、中野キャンパスでは「社会連携」をそれぞれテーマとし、学内・学外での活動、地域との交流、復興支援など、特色ある活動を展開しました。

ア 災害救援ボランティア講座（駿河台VC）

イ バリアフリー映画祭（和泉VC）

ウ 子ども向けワークショップ「科学教室プログラム」（生田VC）

エ all なかの防災ボランティア体験デー（中野VC）

※ <http://www.meiji.ac.jp/campus/volunteer/index.html>

### (3) 学生相談室の活動

相談内容の約3分の2が精神衛生に関わるものであるとともに、SNSのトラブルに関する相談など社会情勢の変化を反映して相談内容も多様化・複雑化していることから、学生相談機能の拡充を図っています。また、心身の健康維持と予防に関わる行事も開催しました。

ア バランスボール体験！姿勢と体調を整えよう

イ 浴衣着付け体験

ウ Yoga 体験！～ココロとカラダを整えよう～

※ <http://www.meiji.ac.jp/soudan/index.html>

### (4) M-N a v i プログラム（Meiji Navigation Program）の推進

学部や学科で学び身に付けていく「基礎学力」や「専門知識」に加えて、それらを上手に活用していくための「力」（社会人基礎力）を身につけるためのナビゲーターの役割を果たす学生支援プログラムの一つです。

2016年度は、「新入生M-N a v i 合宿」、「神宮へ行こう（東京六大学野球観戦）」、「テーブルマナーを身につけよう！」、「観劇プログラム～劇団四季～」、「農業体験」、「食育プログラムーレンジで簡単、本格料理！」等のプログラムを実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/campus/mnp/6t5h7p00000hfuo7.html>

### (5) 観る人に感動を～スポーツ関係

ア リオデジャネイロ五輪で本学学生及びOBが活躍

（ア）柔道66キロ級で海老沼匡選手（2012商卒）が銅メダルを獲得

（イ）卓球男子シングルスで水谷隼選手（2013政経卒）が銅メダル、丹羽孝希選手（政経4）が5位入賞

(ウ) 卓球男子団体で水谷隼選手(2013政経卒)・丹羽孝希選手(政経4)が銀メダルを獲得

(エ) 水泳オープンウォータースイミングで平井康翔(2013政経卒)が8位入賞

#### イ 硬式野球部

(ア) 41年ぶりに3冠達成

春季リーグ戦, 秋季リーグ戦の連覇及び明治神宮大会優勝で3冠達成。

(イ) 主将・柳裕也投手(政経4)が中日ドラゴンズから1位指名を, 星知弥投手(政経4)が東京ヤクルトスワローズから2位指名を, 佐野恵太選手(商4)が横浜DeNAベイスターズから9位指名を, 中道勝士捕手(商4)がオリックス・バファローズから育成5位指名を受けました。また, OBからも1名が指名されました。



#### ウ ラグビー部

関東大学ラグビー対抗戦, 今シーズンの成績を5勝2敗とし, 対抗戦3位。

#### エ サッカー部

創部初の総理大臣杯全日本大学トーナメント優勝, 6年ぶりに関東大学リーグ戦優勝で2冠達成。

#### オ 輝かしい活躍

(ア) ハンドボール部 57年ぶり1部リーグ優勝

(イ) スケート部アイスホッケー部門 日本学生氷上競技選手権で優勝

(ウ) 水泳部 インカレ男子総合2連覇

(エ) 拳法部 3年ぶりの全国選抜優勝, インカレ5連覇達成

(オ) 剣道部 山田凌平選手(政経2)が明大勢18年ぶり個人優勝/創部初, 女子団体で全日本制覇

(カ) 卓球部 全日本選手権男子ダブルスで丹羽孝希選手(政経4)・酒井明日翔選手(政経2)ペアが日本一

### (6) 就職・キャリア形成をバックアップ

#### ア 就職キャリア支援センター

本学の学生に対する就職支援及びキャリア形成支援を推進することにより, 学生の職業観及び職業に関する知識・技能を涵養して主体的に進路を選択できる能力の育成を図り, 社会に有用な人材を輩出することを目的としています。

2016年度も「就職・進路ガイダンス」, 「エントリーシート対策講座」, 「就職活動体験報告会」, 「各種業界研究会」等を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/index.html>

#### (ア) 「企業と大学との就職懇談会」の開催

駿河台キャンパスのアカデミーコモンにおいて, 理事長, 学長をはじめとする大学役員・役職者, 各学部・大学院の就職担当教員が企業の採用担当者と情報交換を行う「企業と大学との就職懇談会」を10月に開催しました。企業側

からは過去最高の500社以上の採用担当者が出席しました。

本学学生の就職と企業の採用活動に役立てるために、本学の教育・研究内容や就職支援の取り組み、企業側の採用状況などについて意見や情報を交わし、企業との連携を深めました。

#### (イ) 200を超える多様なセミナー等の開催

a グローバルニッチトップ企業セミナー～キラリと光る優良企業に出会う～  
大手企業や知名度で企業選択をすることに偏りがちな学生に対し、視野を広げ、学生と企業の的確なマッチングを行うための取り組みの一つとして実施しました。

b 企業採用担当者による模擬面接会

面接官役となるのはメーカー、商社、金融、ITなど様々な分野36社の採用担当者です。学生たちは約50分間、グループ面接形式の模擬面接や面接内容についてのフィードバックを受けました。3日間で約600人の本学学生が参加しました。

#### イ 大学院「キャリアサポートプログラム」

2016年度も大学院生に特化した「キャリアサポートプログラム」において、研究職を志望する大学院生への支援（研究職支援）と、特に博士前期・修士課程生に対する民間企業や公務員採用試験などの就職活動に対する支援（非研究職支援）に大別し、説明会、相談会のほか、研究資金獲得セミナーやプレゼンテーションセミナーなどを開催しました。

※ [http://www.meiji.ac.jp/dai\\_in/career/index.html](http://www.meiji.ac.jp/dai_in/career/index.html)

#### ウ 留学生への就職サポート

日本国内で就職を希望する留学生に特化した就職支援を手厚く行っています。

2016年度も、日本での就職活動の基本的な進め方を指導する「就職・進路ガイダンス」をはじめ、「ビジネス日本語講座」、「筆記試験対策講座」、「エントリーシート対策講座」、「OB・OG及び内定者との就職体験報告会」などを開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/ryuugakusei.html>

#### エ 6県と「学生U・Iターン就職促進協定」を締結

秋田県、山形県、福島県、石川県、山口県、香川県の6県と同協定を締結しました。当該地域の出身者やその地域への就職に関心のある学生に対し、企業情報・生活情報等を提供するなど就職活動を支援することにより、就職先の選択の幅を広げることを目的として締結されました。



## 1.1 教育研究環境の整備

本学のより一層の発展に寄与するため、教育研究環境の整備等を行いました。

### (1) 教育研究施設計画

各キャンパスからの要望や本学の財政状況等を踏まえ、2015年度に今後10年間を見据えた大学全体の施設建設計画に係る優先順位を策定しました。今後はこの計

画に基づき、教育施設、研究施設、学生環境の整備を推進します。あわせて、安全かつ高度な教育研究環境を守るため、既存施設の修繕、改修を適切に実施していきます。

## 1.2 学校法人の管理・運営

### (1) 新理事会の発足・新理事長の就任

2016年5月10日付けで新役員が就任し、新理事会が発足しました。新理事長に、校友の柳谷 孝が就任しました。(任期は2020年3月31日まで。)

また、これまでの5名の常勤理事(総務担当、財務担当、教務担当、学務担当、経営企画担当)に加え、大学を取り巻く環境変化に対応するため、新たに情報担当の常勤理事を1名増員しました。

### (2) 男女共同参画の推進

#### ア 「明治大学男女共同参画推進基本計画」を策定

2016年12月に基本方針や行動計画等をまとめた「明治大学男女共同参画推進基本計画」を策定しました。この基本計画の実施期間は、2016年度から2019年度までです。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/diversity/>

※ <http://muged.meiji.jp/>

#### イ 総括シンポジウム「Life sharing～共に前へ!～」の開催

平成26年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業(一般型)」の採択を受けて2014年度から2016年まで実施した本事業の成果報告を中心とした総括シンポジウムを、男女共同参画推進センター女性研究者研究活動支援事業推進本部主催、情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター及び法科大学院ジェンダー法センター共催で開催しました。

### (3) 学費の改定

継続的に諸改革を実行し、事業展開するためには、安定的な財政基盤の確立が必要不可欠です。学費収入に偏ることなく、受託事業や各種補助金など外部資金の獲得、経費節減による自助努力を続けてまいりましたが、本学のさらなる飛躍のためには学費の改定に踏み切らざるを得ないと判断に至りました。2017年度新入生から(博士前期課程の文系研究科は2018年度新入生から)増額改定を実施することを決定しました。

### (4) 防火・防災・危機管理体制関連

大規模災害の発生等を想定し、学生用・教員用・職員用といったカテゴリーごとの災害発生時対応マニュアルに基づき、駿河台・和泉・生田・中野の各キャンパス、黒川農場及び明治高等学校・中学校において防災訓練等を実施しました。

### (5) 事務組織の検討

本法人の事務組織が抱える課題の整理、解決策、事務組織の在り方等について、総合的な観点から検討を行い、事務組織のあるべき姿に関する提言を取りまとめました。2016年度は、理事会において、2017年4月に一部の事務組織を改編することを承認しました。

### 1.3 付属高等学校・中学校

#### (1) 国際教育の推進及び特色ある教育の実現

##### ア 海外語学研修の実施

2016年度も休みを利用した海外語学研修を夏・春の2回実施しました。

##### (ア) 夏期海外語学研修

カナダ・バンクーバーのブリティッシュ・コロンビア大学（UBC）キャンパスを拠点に開催された、現地ボドウェル高校主催のプログラムに参加しました。中学生2名、高校生43名の合計45名が、2週間コースまたは3週間コースに参加しました。

##### (イ) 春期海外語学研修

オーストラリアのサンシャインコーストにて実施され、中学3年生から高校2年生の計20名が参加しました。自然豊かな環境の中、参加生徒は10日間を通してホームステイの上、午前中は語学学校で授業、午後は各種アクティビティを体験しました。また、現地の学校訪問を行い、生徒達と交流しました。

##### イ 「スピーチコンテスト」「イングリッシュ・プレゼンテーション」を開催

2016年度も、英語による「スピーチコンテスト」及びパワーポイントを使った「イングリッシュ・プレゼンテーション」コンテストを開催しました。これらの行事では、英語による発信力強化を図るとともに、入賞者は「鶴澤総明教育振興・奨学金プログラム」奨学金の給付及び海外文化体験プログラム参加費を免除されました。

##### ウ 明治大学留学生との交流会

明治大学受け入れ留学生と高等学校・中学校の生徒との交流会を開催し、中学1年生の英語の授業への参加や伝統遊びによる交流を通じて、お互いの懇親を深めました。

#### (2) 高大連携の推進

##### ア 高大連携講座

高校2年生に対して、志望学部選択や明治大学進学後のスムーズな講義受講に資するよう、明治大学の教員が調布キャンパスで年間を通して各学部の基礎的な内容の授業を実施しました。

##### イ プレカレッジプログラム

高校在学中（高校2・3年生対象）に明治大学の授業の一部を受講し、修得した単位が、明治大学入学後に学部卒業要件単位として認定される制度を2016年度も実施しました。

##### ウ サマーセミナー、スプリングセミナー、ウィンターセミナー

明治大学と連携し、資格の取得、英語力の向上、進路決定の参考等の目的で、夏休み、春休み及び高校3年生の最終学期に集中講座として実施しました。「法学検定4級チャレンジ講座」「TOEIC講座」「簿記講座（2級・3級）」「実験講座（化学・物理）」「コンピュータプログラミング講座」なども、明治大学の各キャンパスや本校で実施しました。

#### エ 法学部主催「予備試験対策答案練習講座」への参加

法学部が、2016年度の秋学期に初めて実施した「予備試験対策答案練習講座」に、高校3年生が参加できる枠が設けられ、生徒2名が参加しました。

#### オ 国家試験指導センター経理研究所簿記講座・会計士サポートコースへの参加

国家試験指導センター経理研究所との連携により、簿記検定合格を目指す「簿記講座」と大学在学中の公認会計士合格を高校生のうちから目指す「会計士サポートコース」に、生徒2名が参加しました。

※ [http://www.meiji.ac.jp/ko\\_chu/feature/kodai.html](http://www.meiji.ac.jp/ko_chu/feature/kodai.html)

#### (3) 「卒業生顕彰式」を挙行

これは、本校を卒業後、学術・文化・スポーツなどの分野で活躍し、優秀な成果を収めた卒業生を称え、在校生の模範となるよう顕彰するもので、明治大学の学部長奨励賞を受賞した現役明大生や、司法試験・公認会計士試験の合格者など卒業生19名を表彰しました。

以 上

## 参考資料

### (1) 海外協定校一覧(2017年3月31日現在)

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	中国	中国人民大学	○	
2		延边大学	○	
3		華東師範大学	○	
4		清華大学		
5		深圳大学	○	
6		厦門大学	○	
7		上海交通大学	○	
8		中央財經大学	○	
9		雲南農業大学		
10		遼寧大学	○	
11		雲南民族大学		
12		內蒙古工業大学	○	
13		大連外国語大学	○	
14		雲南大学	○	
15		北京大学	○	
16		蘇州大学	○	
17		南京大学	○	
18		中国社会科学院		
19		東華大学		
20		上海對外經貿大学		
21		南京財經大学		
22		中央民族大学	○	
23		大連海事大学		
24		香港中文大学	○	
25	韓国	梨花女子大学	○	
26		高麗大学	○	
27		忠北大学	○	
28		同德女子大学	○	
29		慶北大学		
30		仁荷大学	○	
31		大邱大学	○	
32		淑明女子大学	○	
33		慶尚大学	○	
34		西江大学	○	
35		延世大学		
36		嶺南大学	○	
37		中央大学		
38		大田大学	○	
39		全北大学		
40		慶熙大学	○	
41		漢陽大学	○	
42		濟州大学	○	
43		崇実大学	○	
44		聖公会大学		
45	韓國外国語大学	○		
46	台湾	国立台湾大学	○	
47		中国文化大学	○	
48		国立虎尾科技大学	○	
49		国立台北大学	○	
50		国立嘉義大学	○	
51		中原大学		
52		国立屏東科技大学		
53		南台科技大学		
54		国立高雄应用科技大学	○	

	国名	協定大学名	学生交流	備考
55	台湾	環球科技大学		
56		淡江大学		
57		国立交通大学		
58		国立政治大学	○	
59	ベトナム	フンラン大学		
60		ハノイ大学	○	
61		ベトナム国家大学ハノイ外国語大学	○	
62		ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学		
63		ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学		
64		貿易大学(ハノイ)	○	
65		ホーチミン市建築大学		
66	ラオス	ラオス国立大学		
67	マレーシア	マレーシア工科大学	○	
68		マレーシア科学大学	○	
69		マラヤ大学	○	
70		マレーシア・サラワク大学	○	
71		ペトロナス工科大学	○	
72		マレーシア・サバ大学		
73	シンガポール	シンガポール経営大学	○	
74	タイ	シーナカリンウィロート大学		
75		泰日工業大学		
76		チェンマイ大学		
77		チュラロンコン大学	○	
78		プリンスオブソンクラーク大学		
79		キングモンクット工科大学ラカバン校	○	
80	インドネシア	バンドン工科大学	○	
81		インドネシア大学		
82		ガジャマダ大学	○	
83	フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	○	
84		アテネオ・デ・マニラ大学		
85		デ・ラ・サール大学		
86	インド	インド科学院大学	○	
87		インド統計大学		
88		ゴカレ政治経済研究所		
89		ジャワハルラーール・ネルー大学		
90		ジャダプール大学		
91	モンゴル	モンゴル国立大学		
92	バングラデシュ	ダッカ大学		
93	豪州	西シドニー大学	○	
94		サンシャインコースト大学		
95		ニューサウスウェールズ大学	○	
96		南オーストラリア大学		
97		クイーンズランド工科大学	○	
98		アデレード大学	○	
99		マッコーリー大学	○	
100		シドニー工科大学	○	
101	サウジアラビア	アブドゥルアジズ国王大学		
102	トルコ	中東工科大学	○	
103		ボアジチ大学(ボスポラス大学)		
104	タンザニア	ダルエスサラーム大学		
105	英国	シェフィールド大学	○	
106		ケンブリッジ大学ヒューズ・ホール校		
107		ヨーク・セント・ジョン大学		
108		ロンドン大学クィーン・メアリー校		
109		マンチェスター大学	○	
110		バーミンガム大学		

	国名	協定大学名	学生交流	備考
111	英国	ブライトン大学		
112		イースト・アングリア大学	○	
113		イーストロンドン大学		
114		ロンドン大学	○	
115	ドイツ	フリードリヒ・シラー大学(イェーナ大学)	○	
116		ツェッペリン大学		
117		ジーゲン大学	○	
118		パッサウ大学	○	
119		ハインリッヒ・ハイネ大学(デュッセルドルフ大学)	○	
120	フランス	ランス大学	○	
121		パリ第1大学(パンテオン・ソルボンヌ)	○	
122		パリ第9大学(ドフィース)	○	
123		トゥールーズ第1キャピトル大学	○	
124		フランス国立東洋言語文化研究学院 (INALCO)	○	
125		リヨン第3大学	○	
126		ヴェルサイユ大学	○	
127		パリ第3大学(ソルボンヌ・ヌーベル)	○	
128		エクス・マルセイユ大学	○	
129		パリ第7大学(デイドロ)	○	
130		モダール・インターナショナル学院		
131		リヨン政治学院	○	
132		ジョセフ・フーリエ大学		
133		ストラスブール大学	○	
134	オーストリア	ウィーン大学	○	
135		ウィーン経済・経営大学		
136	スウェーデン	リンシェーピン大学	○	
137		セーデルトーン大学	○	
138	スイス	チューリッヒ大学	○	
139	イタリア	シエナ大学	○	
140		ヴェネツィア大学	○	
141		ミラノ大学	○	
142		フィレンツェ大学	○	
143		シエナ外国人大学	○	
144		ミラノ工科大学	○	
145	スペイン	アリカンテ大学	○	
146		ロビーラ・イ・ビルジリ大学		
147		バレンシア大学	○	
148		モンドラゴン大学		
149		サラマンカ大学	○	
150	ギリシャ	クレタ大学		
151	ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学		
152	ロシア	プレハーノフ経済大学	○	
153		クラスノヤルスク国立教育大学	○	
154		国立経営大学	○	
155		モスクワ国立大学	○	
156		サンクトペテルブルク国立経済大学		
157		モスクワ国際関係大学		
158		ロシア国立研究大学高等経済学院		
159		オムスク国立大学		
160		サンクトペテルブルク工科大学	○	
161	ハンガリー	エトヴェシュ・ロラード大学	○	
162	ポーランド	ウッジ大学	○	
163		ポズナン経済大学		
164	リトアニア	ヴィータウタス・マグヌス大学		
165		ミーコラス・ロメリス大学	○	
166	ルーマニア	ブカレスト大学	○	

	国名	協定大学名	学生交流	備考
167	ブルガリア	ソフィア大学	○	
168	セルビア	ベオグラード大学	○	
169	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ大学		
170		パニャルカ大学		
171	ノルウェー	インランドノルウェー応用科学大学	○	
172	ウクライナ	キエフ国立大学		
173	オランダ	ライデン大学	○	
174	米国	カリフォルニア大学バークレー校	○	
175		オレゴン大学	○	
176		アイオワ大学	○	
177		サザンイリノイ大学カーボンデール校	○	
178		ニューヨーク州立大学ニューパルツ校	○	
179		アラバマ大学	○	
180		ミズーリ州立大学	○	
181		カンザス大学		
182		ノースイースタン大学	○	
183		南カリフォルニア大学		
184		メンフィス大学	○	
185		テンプル大学	○	
186		テンプル大学	○	
187		カリフォルニア大学デービス校	○	
188		南ユタ大学	○	
189		ワトガース大学		
190		ニューヨーク州立大学バッファロー校	○	
191		カリフォルニア州立大学フラトン校	○	
192		ネブラスカ大学オマハ校	○	
193		北テキサス大学		
194		ミネソタ州立大学モアヘッド校	○	
195		ジョージア大学	○	
196		カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	○	
197		カリフォルニア大学ロサンゼルス校	○	
198	サンディエゴ州立大学	○		
199	カリフォルニア大学アーバイン校	○		
200	ミシガン州立大学			
201	テネシー大学マーティン校			
202	アリゾナ州立大学	○		
203	ペンシルベニア大学	○		
204	スタンフォード大学	○		
205	カナダ	ヨーク大学	○	
206		アルバータ大学	○	
207		モントリオール大学	○	
208		マクマスター大学	○	
209		ユーコン・カレッジ	○	
210	ラヴァル大学			
211	メキシコ	メキシコ国立自治大学	○	
212		グアナファト大学	○	
213	ブラジル	FAAP - アルマンド・アルバレス・ペンチアード大学	○	
214		サンパウロ大学		
215		リオ・ブランコ大学	○	
216	アルゼンチン	ラプラタ国立大学	○	
217	コロンビア	エアフィット大学	○	
218		ホルヘ・タデオ・ロザーノ大学	○	
219		ロサリオ大学	○	
220	国際機関	国際連合食糧農業機関(FAO)		

計 220大学・機関

学部間等協定校

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	中国	中央財経大学 商学院	○	政治経済学研究科 経営学研究科
2		北京大学 政府管理学院	○	政治経済学部
3		北京師範大学 歴史学院	○	文学部
4		中山大学 国際商学院	○	経営学部
5		対外経済貿易大学 国際商学院	○	経営学部
6		西南交通大学 公共管理学院	○	政治経済学部
7		南京師範大学 法学院	○	法学部 法学研究科 法科大学院
8		山東大学 物理学部, 化学・化学工学部, 生命科学部		理工学部
9		東北財経大学 公共管理学院	○	政治経済学部
10		香港城市大学 商学院 香港城市大学 人文社会科学学院	○ ○	経営学部 情報コミュニケーション学部
11	韓国	高麗大学 文科大学	○	文学部
12		ソウル大学 経営大学	○	経営学部
13		延世大学 政治経済大学	○	政治経済学部
		延世大学 社会科学大学政治外交学科	○	政治経済学部
14		全北大学 人文大学	○	情報コミュニケーション学部
15		韓国刑事政策研究院		法学研究科
16		成均館大学 芸術大学・芸術大学院	○	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション研究科
17	又松大学 経営大学院	○	経営学研究科	
18	台湾	国立台湾大学 生物資源・農学院農業経済学部		農学部
		国立台湾大学 法律学院	○	法学研究科
		国立台湾大学 社会科学院	○	政治経済学部
		国立屏東科技大学 農学部, 工学部	○	農学部
		弘光科技大学 工学院	○	理工学部
		国立台北科技大学 機電学院		理工学部
		国立台湾師範大学 文学院	○	文学部
23	国立台湾科技大学 設計学院		理工学部	
24	ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 東洋言語文化学部	○	情報コミュニケーション学部
25		ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 国際関係学部	○	政治経済学部
26	ラオス	ラオス国立大学	○	情報コミュニケーション学部
27	シンガポール	シンガポール国立大学 設計・環境学部	○	理工学部
28		南洋理工大学 人文社会科学部	○	政治経済学部
29	タイ	シーナカリンウィロート大学 サステイナビリティ研究国際学部	○	経営学部
		シーナカリンウィロート大学 社会科学部	○	政治経済学部
		シーナカリンウィロート大学 人文学部	○	政治経済学部
		シーナカリンウィロート大学 人文学部	○	情報コミュニケーション学部
		シーナカリンウィロート大学 経済・公共政策学部	○	政治経済学部
		シーナカリンウィロート大学 経済・公共政策学部	○	経営学部
		シーナカリンウィロート大学 経済・公共政策学部	○	農学部
シーナカリンウィロート大学 農産物革新・技術学部		○	農学部	
30		タマサート大学 政治学部	○	政治経済学部
31		チェンマイ大学 経済学部	○	政治経済学部
	チェンマイ大学 政治・公共管理学部	○	政治経済学部	
32	チェンマイラジャパット大学 農業技術学部		農学部	
33	チュラロンコン大学 経済学部	○	政治経済学部	
	チュラロンコン大学 建築学部	○	理工学部	
	チュラロンコン大学 政治学部	○	政治経済学部	
	チュラロンコン大学 理学部	○	理工学部	
34	チュラロンコン大学 理学部	○	農学部	
	プリンスオブノクラー大学 経済学部	○	政治経済学部	

		協定大学名	学生交流	備考	
35	タイ	キングモンクット工科大学トンプリ校 生物資源工学部		農学部	
		キングモンクット工科大学ラカバン校 行政経営学部	○	政治経済学部	
36		カセサート大学カンペンセン校 農学部	○	農学部	
37	インドネシア	インドネシア大学 社会政治学部	○	政治経済学部	
38		ペトラクリスチャン大学	○	政治経済学部	
39	フィリピン	デ・ラ・サール大学 法科大学院		法学部 法学研究科 法科大学院	
40		ヌエバ・ビスカヤ州立大学 農学部		農学部	
41	南アフリカ	ケープタウン大学 工学・建築環境学部		理工学部	
42	英国	カーディフ大学 カーディフビジネススクール	○	商学部	
		カーディフ大学 カーディフビジネススクール	○	経営学部	
43		オックスフォード大学ハートフォード校	○	国際日本学部	
44		サセックス大学 ビジネス・経営・経済学部		経営学研究科	
		サセックス大学	○	政治経済学部	
45		ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス サマースクール	○	政治経済学部	
46	ドイツ	ブレーメン州立経済工科大学	○	商学部	
47		ビーレフェルト大学 言語学および文学部	○	文学部	
48		オスナブリュック応用科学大学 経営管理・社会科学部	○	経営学部	
		オスナブリュック応用科学大学 経営管理・社会科学部	○	経営学研究科	
49		ヴッパータール大学	○	理工学部	
50		バンベルク大学 人文学部	○	文学部	
51		パイロイト大学 法経済学部	○	法学部 法学研究科	
52		ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン 言語学・文化学・芸術学部	○	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション研究科	
53	フランス	IPAGビジネススクール	○	経営学部	
54		トゥールーズ第1キャピトル大学 経営管理大学院	○	経営学研究科	
55		レンヌ商科大学	○	商学部	
56		パリ商業高等大学	○	商学部	
57		フランスビジネススクール	○	経営学研究科	
58		パリ第7大学(デイドロ)	○	文学部	
59		レンヌ第1大学 経営学院	○	経営学研究科	
60		オーデンシア・ナント経営学院	○	経営学研究科	
61		パリカトリック大学 パリ電子工学院	○	理工学部	
62		パリ国立建築大学ラ・ヴィレット校	○	理工学部	
63		ボルドー・モンテーニュ大学	○	文学部	
64	スウェーデン	ルンド大学	○	政治経済学部 国際日本学部	
65	イタリア	トリノ大学 農林・食品科学部		農学部	
66	スペイン	IE大学	○	経営学部	
67		ESADEビジネススクール	○	政治経済学部	
68	ベルギー	ゲント大学 生物科学工学部		農学部	
69	フィンランド	東フィンランド大学 社会科学・ビジネス学部	○	政治経済学部	
		東フィンランド大学 社会科学・ビジネス学部	○	経営学部	
70	オランダ	ロッテルダム応用科学大学 ロッテルダムビジネススクール	○	政治経済学部	
		ロッテルダム応用科学大学 ロッテルダムビジネススクール	○	経営学部	
71	米国	ボストン大学		政治経済学部	
72		アイオワ州立大学 農学・生命科学部		農学部	
73			オレゴン大学 建築・芸術学部	○	理工学部
			オレゴン大学	○	国際日本学部
73			ニューヨーク州立大学ニューパルツ校	○	国際日本学部
74			アラバマ大学	○	国際日本学部
75			インディアナ大学・パーデュー大学インディアナポリス校	○	国際日本学部
76			フロリダ州立大学	○	国際日本学部
77			メンフィス大学	○	情報コミュニケーション学部
78			ハワイ大学マノア校 熱帯農業人的資源学部	○	農学部

	国名	協定大学名	学生交流	備考	
79	米国	ハワイ大学マノア校 アウトリーチカレッジ	○	国際日本学部	
		ハワイ大学マノア校 ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院		法学部 法学研究科 法科大学院	
80		テンプル大学 教養学部	○	政治経済学部	
81		デューク大学 大学院及びアジア太平洋研究所	○	政治経済学研究科	
82		ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ	○	国際日本学部	
83		ワシントン大学 建造環境学部	○	理工学部	
84		ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校	○	国際日本学部	
85		シラキュース大学	○	政治経済学	
86		カリフォルニア州立大学モントレーベイ校	○	情報コミュニケーション学部	
87		グリーンリバーカレッジ	○	国際日本学部	
88		エドモンズコミュニティカレッジ	○	国際日本学部	
89		ピアスカレッジ	○	国際日本学部	
90		ショアラインコミュニティカレッジ	○	国際日本学部	
91		ビュートカレッジ	○	国際日本学部	
92		エベレットコミュニティカレッジ	○	国際日本学部	
93		フットヒルカレッジ	○	国際日本学部	
94		オーロニカレッジ	○	国際日本学部	
95		カナダ	サスカチュワン大学 農学・生物資源学部		農学部
96			ヴィクトリア大学 グスタフソンビジネススクール	○	経営学部
			ヴィクトリア大学 グスタフソンビジネススクール	○	経営学部
	ヴィクトリア大学 グスタフソンビジネススクール		○	経営学部	
97	トロント大学 生涯学習学部	○	文学部		
98	ブラジル	サンパウロ大学 法学部	○	法学部 法学研究科 法科大学院	

計 98大学

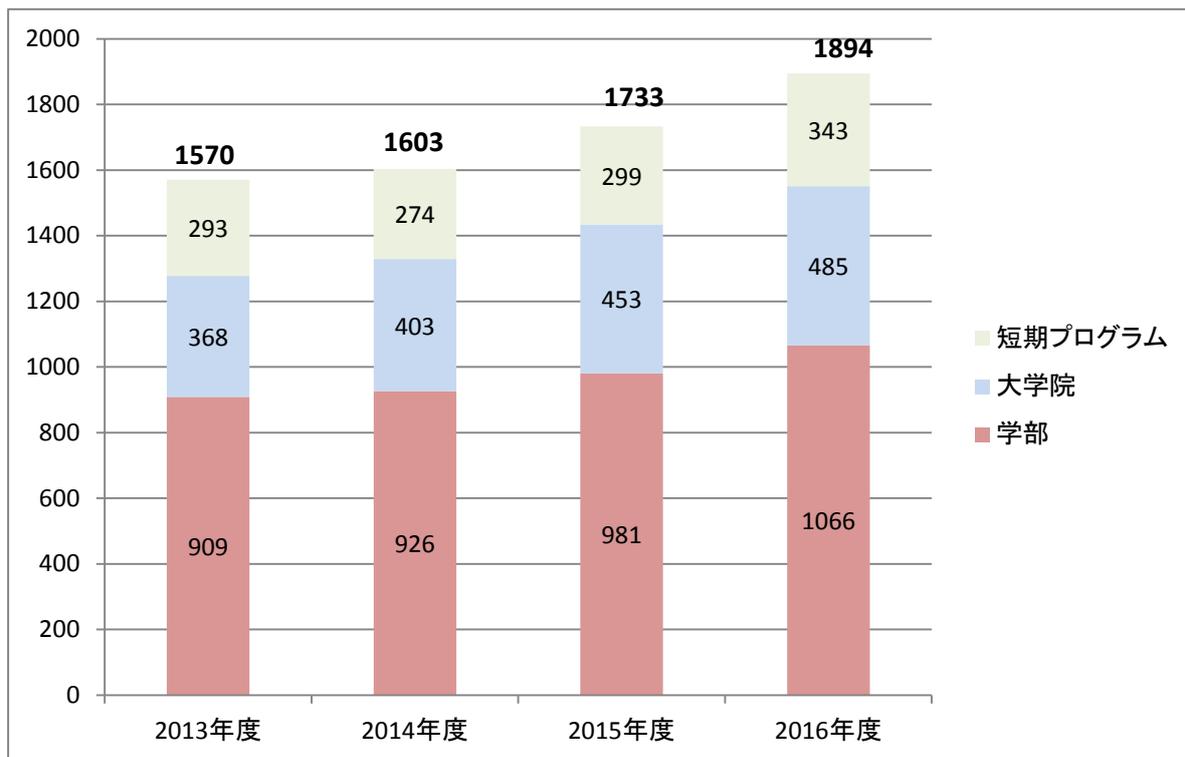
その他部局間(研究所間)協定校

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	台湾	国立交通大学 数学建模科学計算研究所		先端数理科学インスティテュート
2	ベトナム	ベトナム科学技術院 ハノイ数学研究所		先端数理科学インスティテュート
3	イタリア	イタリアCNR応用数学研究所(IAC)		先端数理科学インスティテュート
4	英国	オックスフォード大学 数理生物学センター		先端数理科学インスティテュート
5	スペイン	コンプルテンセ大学 学際数学研究所		先端数理科学インスティテュート
6	フランス	フランス国立社会科学高等研究院社会数理解析センター(CAMS)		先端数理科学インスティテュート
7	ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部極東地質学研究所		黒耀石研究センター

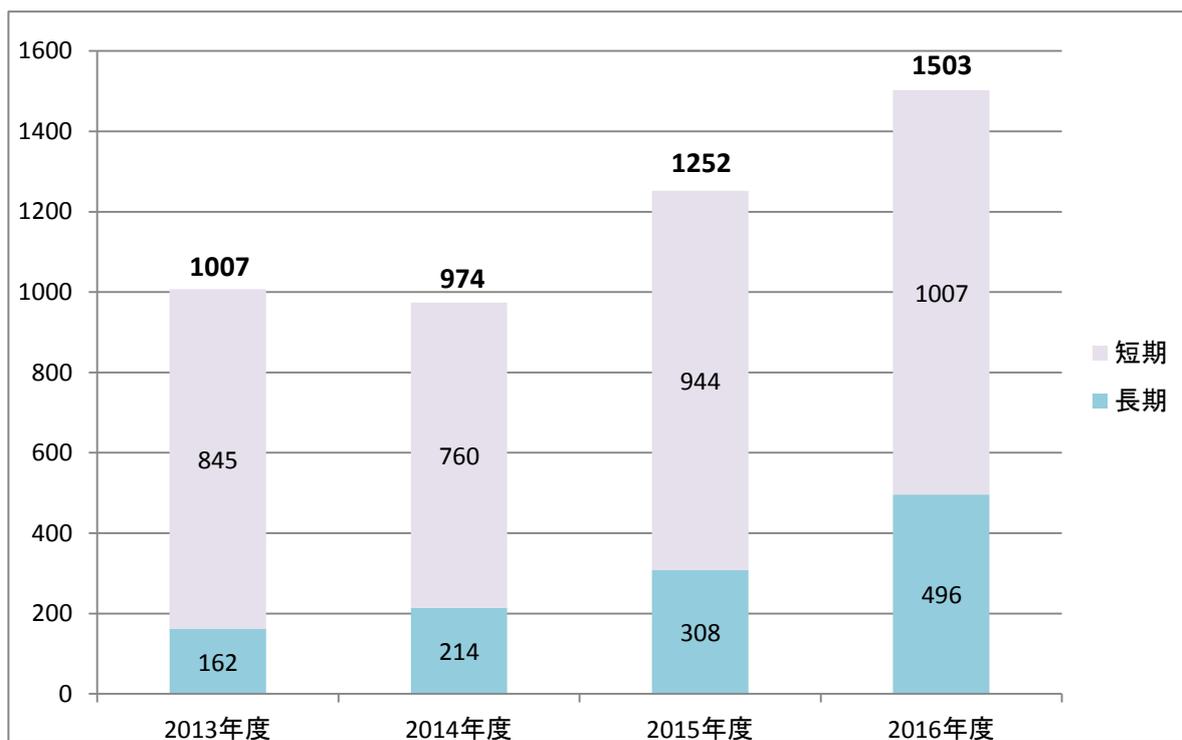
計 7大学等

## (2)外国人受入留学生数及び海外派遣留学生数

### ①外国人受入留学生数



### ②海外派遣留学生数



(3)2017年度 入学試験結果

① 一般選抜入学試験

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者／合格者			
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子							
法学部		法律学科	330	4,170	2,848	1,322	3,639	2,498	1,141	806	564	242	350	228	65.1	4.5	
商学部		商科	450	8,453	5,937	2,516	7,483	5,233	2,250	1,121	784	337	350	252	72.0	6.7	
政治経済学部		政治学科	105	1,833	1,304	529	1,714	1,220	494	418	295	123	350	238	68.0	4.1	
		経済学科	290	4,474	3,599	875	4,159	3,352	807	919	734	185	350	235	67.1	4.5	
		地域行政学科	70	733	519	214	699	494	205	124	86	38	350	229	65.4	5.6	
		計	465	7,040	5,422	1,618	6,572	5,066	1,506	1,461	1,115	346					4.5
文学部		文学科	日本文学	65	1,244	520	724	1,135	475	660	151	58	93	300	220	73.3	7.5
			英米文学	61	758	306	452	670	271	399	135	63	72	300	215	71.7	5.0
			ドイツ文学	18	291	122	169	265	114	151	35	15	20	300	212	70.7	7.6
			フランス文学	23	298	97	201	269	90	179	50	23	27	300	212	70.7	5.4
			演劇学	26	380	102	278	347	90	257	47	18	29	300	213	71.0	7.4
			文芸メディア	36	853	288	565	787	267	520	101	28	73	300	223	74.3	7.8
		史学地理学科	日本史学	45	842	552	290	776	507	269	104	74	30	300	225	75.0	7.5
			アジア史	18	247	141	106	219	122	97	44	23	21	300	219	73.0	5.0
			西洋史学	29	526	298	228	478	268	210	90	46	44	300	225	75.0	5.3
			考古学	22	283	159	124	258	146	112	52	25	27	300	208	69.3	5.0
			地理学	24	297	235	62	266	214	52	59	48	11	300	211	70.3	4.5
		心理社会学科	臨床心理学	22	573	208	365	517	181	336	62	20	42	300	223	74.3	8.3
			現代社会学	23	419	164	255	370	142	228	62	23	39	300	223	74.3	6.0
計	412	7,011	3,192	3,819	6,357	2,887	3,470	992	464	528					6.4		
理工学部		電気電子生命学科	電気電子工学	75	1,136	1,070	66	1,096	1,032	64	363	343	20	360	229	63.6	3.0
			生命理工学	26	382	271	111	366	261	105	128	87	41	360	230	63.9	2.9
		機械工学科	機械情報工学科	61	924	866	58	890	832	58	277	262	15	360	236	65.6	3.2
			建築学科	83	2,049	1,495	554	1,990	1,459	531	298	223	75	360	265	73.6	6.7
			応用化学科	50	1,497	1,141	356	1,441	1,100	341	423	320	103	360	247	68.6	3.4
			情報科学科	60	1,576	1,401	175	1,514	1,352	162	339	310	29	360	249	69.2	4.5
			数学科	30	412	369	43	402	361	41	194	167	27	360	220	61.1	2.1
			物理学科	30	724	639	85	689	606	83	260	227	33	360	242	67.2	2.7
計	480	10,636	9,071	1,565	10,251	8,757	1,494	2,756	2,382	374					3.7		
農学部		農学科	78	1,499	1,001	498	1,288	870	418	277	178	99	300	201	67.0	4.6	
		農芸化学科	78	1,127	480	647	995	442	553	196	82	114	300	206	68.7	5.1	
		生命科学科	80	1,578	951	627	1,375	848	527	256	156	100	300	209	69.7	5.4	
		食料環境政策学科	71	1,133	653	480	1,049	609	440	177	95	82	300	207	69.0	5.9	
計	307	5,337	3,085	2,252	4,707	2,769	1,938	906	511	395					5.2		
経営学部	一般選抜 3科目方式	経営学科	270	7,449	5,380	2,069	7,178	5,193	1,985	1,092	764	328	350	235	67.1	6.6	
		会計学科	40	174	89	85	167	86	81	64	28	36	230	125	54.3	2.6	
	英語4技能 試験活用 方式	経営学科	40	174	89	85	167	86	81	64	28	36	230	125	54.3	2.6	
計	310	7,623	5,469	2,154	7,345	5,279	2,066	1,156	792	364					6.4		
情報コミュニケーション学部		情報コミュニケーション学科	325	5,006	2,738	2,268	4,886	2,670	2,216	740	395	345	300	196	65.3	6.6	
国際日本学部		国際日本学科	180	3,381	1,157	2,224	3,282	1,118	2,164	660	250	410	450	328	72.9	5.0	
総合数理学部		現象数理学科	34	693	566	127	594	486	108	100	86	14	320	178	55.6	5.9	
		先端メディアサイエンス学科	42	808	597	211	703	531	172	104	85	19	320	175	54.7	6.8	
		ネットワークデザイン学科	28	543	472	71	473	414	59	48	41	7	320	175	54.7	9.9	
計	104	2,044	1,635	409	1,770	1,431	339	252	212	40					7.0		
一般選抜入学試験 合計			3,363	60,701	40,554	20,147	56,292	37,708	18,584	10,850	7,469	3,381					5.2

② 全学部統一入学試験

	学部・方式・学科(専攻)		募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者 /合格者
				計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子				
法学部		法律学科	100	2,250	1,450	800	2,172	1,398	774	509	341	168	300	213	71.0	4.3
商学部		商学科	60	1,840	1,212	628	1,797	1,176	621	249	176	73	450	334	74.2	7.2
政治経済学部		政治学科	10	608	405	203	586	391	195	61	45	16	350	277	79.1	9.6
		経済学科	25	1,675	1,276	399	1,612	1,226	386	185	152	33	350	269	76.9	8.7
		地域行政学科	10	490	329	161	479	322	157	30	19	11	350	264	75.4	16.0
		計	45	2,773	2,010	763	2,677	1,939	738	276	216	60				9.7
文学部	文学科	日本文学	12	373	139	234	361	131	230	50	22	28	300	219	73.0	7.2
		英米文学	15	348	111	237	335	108	227	80	24	56	300	210	70.0	4.2
		ドイツ文学	3	87	36	51	86	35	51	20	9	11	300	207	69.0	4.3
		フランス文学	4	91	30	61	88	29	59	16	4	12	300	216	72.0	5.5
		演劇学	6	191	46	145	191	46	145	19	3	16	300	216	72.0	10.1
		文芸メディア	5	306	106	200	294	100	194	21	7	14	300	223	74.3	14.0
	史学地理学科	日本史学	9	260	167	93	252	161	91	35	24	11	300	223	74.3	7.2
		アジア史	4	71	46	25	69	46	23	15	10	5	300	216	72.0	4.6
		西洋史学	6	122	71	51	118	68	50	24	15	9	300	221	73.7	4.9
		考古学	4	129	72	57	126	71	55	17	11	6	300	220	73.3	7.4
		地理学	8	130	104	26	126	100	26	23	17	6	300	214	71.3	5.5
	心理社会学科	臨床心理学	8	305	108	197	294	105	189	32	16	16	300	222	74.0	9.2
		現代社会学	8	214	101	113	210	99	111	38	20	18	300	217	72.3	5.5
	計		92	2,627	1,137	1,490	2,550	1,099	1,451	390	182	208				6.5
理工学部	電気電子生命学科	電気電子工学	16	386	356	30	362	332	30	110	102	8	400	289	72.3	3.3
		生命理工学	8	143	105	38	136	100	36	40	30	10	400	290	72.5	3.4
	機械工学科	10	436	418	18	385	367	18	108	103	5	400	310	77.5	3.6	
	機械情報工学科	10	278	258	20	260	240	20	61	57	4	400	301	75.3	4.3	
	建築学科	18	607	440	167	562	403	159	110	77	33	400	311	77.8	5.1	
	応用化学科	9	315	232	83	283	207	76	75	56	19	400	304	76.0	3.8	
	情報科学科	8	453	397	56	425	371	54	81	73	8	400	302	75.5	5.2	
	数学科	7	196	166	30	186	157	29	82	68	14	400	278	69.5	2.3	
物理学科	4	207	182	25	186	164	22	50	49	1	400	300	75.0	3.7		
計		90	3,021	2,554	467	2,785	2,341	444	717	615	102				3.9	
農学部		農学科	15	556	371	185	530	351	179	84	55	29	300	229	76.3	6.3
		農芸化学科	15	483	194	289	463	185	278	55	17	38	300	236	78.7	8.4
		生命科学科	10	530	295	235	500	276	224	71	31	40	300	232	77.3	7.0
		食料環境政策学科	8	347	202	145	332	193	139	54	35	19	300	215	71.7	6.1
計		48	1,916	1,062	854	1,825	1,005	820	264	138	126				6.9	
経営学部		経営学科	30	1,506	1,060	446	1,477	1,038	439	256	184	72	350	255	72.9	5.8
		会計学科														
情報コミュニケーション学部		情報コミュニケーション学科	22	1,632	806	826	1,580	782	798	164	99	65	350	261	74.6	9.6
国際日本学部		国際日本学科	28	1,132	365	767	1,103	355	748	124	47	77	400	305	76.3	8.9
総合数理学部	3科目方式	現象数理学科	4	57	40	17	53	37	16	16	14	2	400	253	63.3	3.3
		先端メディアサイエンス学科	7	125	78	47	115	70	45	14	5	9	400	281	70.3	8.2
		ネットワークデザイン学科	3	63	46	17	60	43	17	11	7	4	400	248	62.0	5.5
	4科目方式	現象数理学科	13	223	181	42	218	178	40	53	45	8	500	362	72.4	4.1
		先端メディアサイエンス学科	16	360	262	98	353	255	98	36	21	15	500	383	76.6	9.8
		ネットワークデザイン学科	18	215	183	32	210	179	31	60	54	6	500	340	68.0	3.5
計		61	1,043	790	253	1,009	762	247	190	146	44				5.3	
全学部統一入学試験 合計			576	19,740	12,446	7,294	18,975	11,895	7,080	3,139	2,144	995				6.0

③ 大学入試センター試験利用入学試験

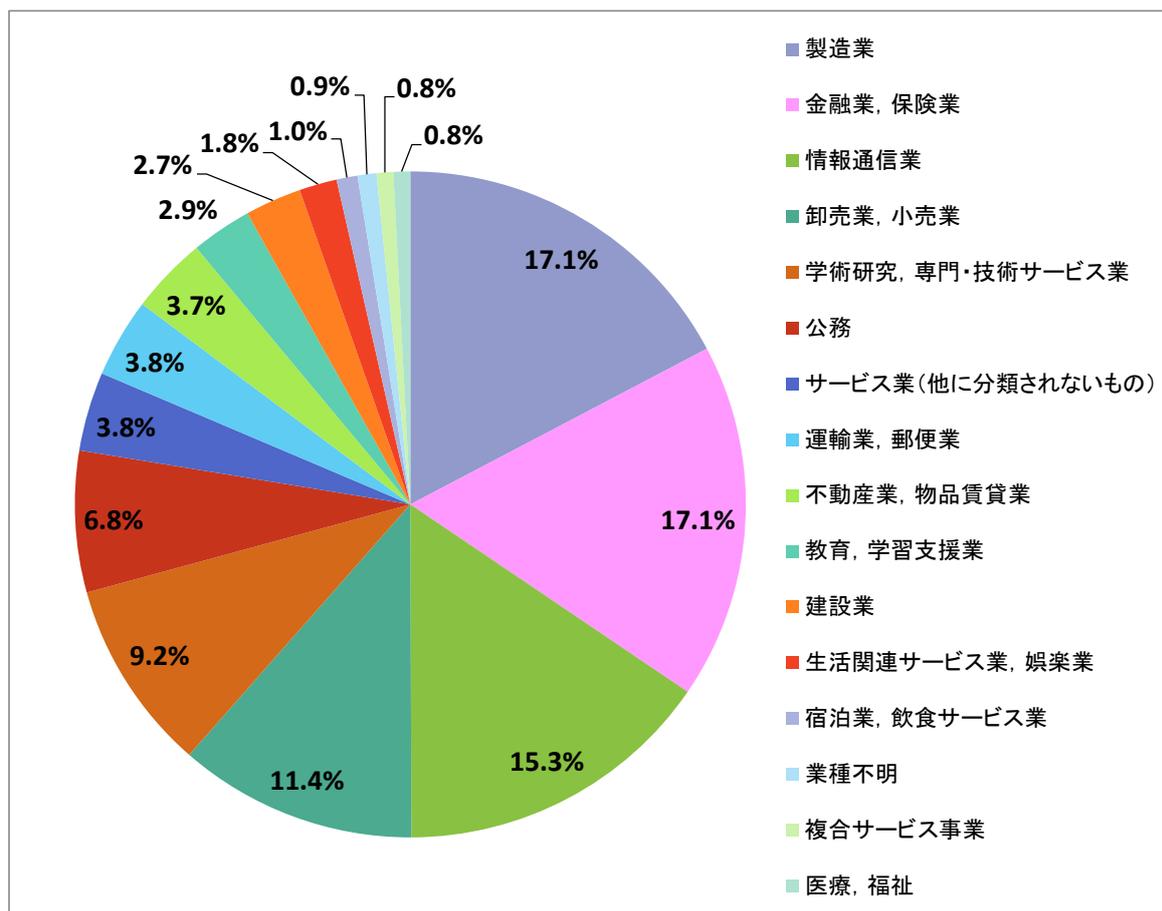
	学部・方式・学科(専攻)			募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者 /合格者	
					計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子		
法 学 部	3科目方式	法 律 学 科	法 律 学 科	50	2,093	1,278	815	2,086	1,273	813	435	208	227	4.8	
			法 律 学 科	40	1,244	782	462	1,237	777	460	413	251	162	3.0	
			法 律 学 科	30	1,219	826	393	1,218	825	393	680	442	238	1.8	
	計			120	4,556	2,886	1,670	4,541	2,875	1,666	1,528	901	627	3.0	
商 学 部	3科目方式	商 学 科	商 学 科	50	1,221	795	426	1,219	793	426	181	99	82	6.7	
			商 学 科	40	651	434	217	650	433	217	200	126	74	3.3	
			商 学 科	25	1,090	768	322	1,089	767	322	268	173	95	4.1	
	計			115	2,962	1,997	965	2,958	1,993	965	649	398	251	4.6	
政 治 経 済 学 部	3科目方式	政 治 学 科	政 治 学 科	10	525	334	191	525	334	191	85	42	43	6.2	
			経 済 学 科	20	790	590	200	787	587	200	94	64	30	8.4	
	7科目方式	政 治 学 科	政 治 学 科	15	661	465	196	654	459	195	308	213	95	2.1	
			経 済 学 科	50	1,995	1,628	367	1,968	1,605	363	934	749	185	2.1	
	計	地 域 行 政 学 科	地 域 行 政 学 科	15	365	262	103	357	257	100	102	66	36	3.5	
			計	110	4,336	3,279	1,057	4,291	3,242	1,049	1,523	1,134	389	2.8	
文 学 部	3科目方式	文 学 科	日 本 文 学	6	433	159	274	429	157	272	77	20	57	5.6	
			英 米 文 学	6	299	105	194	297	104	193	65	24	41	4.6	
			ド イ ツ 文 学	2	85	27	58	85	27	58	22	4	18	3.9	
			フ ラ ン ス 文 学	2	77	23	54	76	23	53	17	6	11	4.5	
			演 劇 学	3	197	43	154	197	43	154	25	4	21	7.9	
			文 芸 メ デ ィ ア	4	484	150	334	482	149	333	64	7	57	7.5	
		史 学 地 理 学 科	日 本 史 学	5	276	165	111	276	165	111	38	23	15	7.3	
			ア ジ ア 史	3	105	58	47	105	58	47	33	17	16	3.2	
			西 洋 史 学	4	194	93	101	194	93	101	44	21	23	4.4	
			考 古 学	3	102	58	44	102	58	44	20	10	10	5.1	
			地 理 学	4	85	59	26	85	59	26	24	13	11	3.5	
			心 理 社 会 学 科	臨 床 心 理 学	4	267	90	177	264	87	177	36	9	27	7.3
	5科目方式	文 学 科	日 本 文 学	3	116	50	66	115	50	65	23	11	12	5.0	
			英 米 文 学	3	86	44	42	84	43	41	19	10	9	4.4	
			ド イ ツ 文 学	2	46	26	20	46	26	20	13	9	4	3.5	
			フ ラ ン ス 文 学	2	46	13	33	46	13	33	13	2	11	3.5	
			演 劇 学	2	31	11	20	29	10	19	6	4	2	4.8	
			文 芸 メ デ ィ ア	2	44	19	25	43	19	24	10	3	7	4.3	
		史 学 地 理 学 科	日 本 史 学	3	65	44	21	65	44	21	19	13	6	3.4	
			ア ジ ア 史	2	62	33	29	60	32	28	12	8	4	5.0	
			西 洋 史 学	2	77	50	27	77	50	27	19	11	8	4.1	
			考 古 学	2	44	25	19	44	25	19	14	9	5	3.1	
			地 理 学	1	65	51	14	64	50	14	13	7	6	4.9	
			心 理 社 会 学 科	臨 床 心 理 学	2	84	30	54	84	30	54	12	6	6	7.0
		計	現 代 社 会 学	現 代 社 会 学	2	94	45	49	94	45	49	20	9	11	4.7
				計	78	3,615	1,524	2,091	3,591	1,512	2,079	694	276	418	5.2
				電 気 電 子 生 命 学 科	電 気 電 子 工 学	6	586	543	43	583	541	42	204	191	13
3教科方式	電 気 電 子 生 命 学 科	生 命 工 学 学 科	2	216	148	68	216	148	68	71	47	24	3.0		
		機 械 工 学 学 科	5	1,048	973	75	1,046	971	75	262	236	26	4.0		
	機 械 情 報 工 学 学 科	機 械 情 報 工 学 学 科	9	717	662	55	717	662	55	240	219	21	3.0		
		情 報 科 学 学 科	7	1,239	1,049	190	1,235	1,045	190	250	208	42	4.9		
4教科方式	電 気 電 子 生 命 学 科	電 気 電 子 工 学	3	244	209	35	243	208	35	73	67	6	3.3		
		生 命 工 学 学 科	1	106	64	42	106	64	42	30	22	8	3.5		
	機 械 工 学 学 科	機 械 工 学 学 科	5	518	471	47	518	471	47	180	160	20	2.9		
		建 築 学 学 科	12	1,185	803	382	1,182	800	382	257	171	86	4.6		
	応 用 化 学 学 科	7	928	652	276	927	651	276	274	189	85	3.4			
	数 学 学 科	4	365	301	64	362	298	64	142	117	25	2.5			
	物 理 学 学 科	7	473	390	83	470	387	83	181	147	34	2.6			
計			68	7,625	6,265	1,360	7,605	6,246	1,359	2,164	1,774	390	3.5		
農 学 部	計	農 学 学 科	12	711	447	264	706	442	264	197	120	77	3.6		
		農 芸 化 学 学 科	12	606	213	393	603	211	392	145	44	101	4.2		
		生 命 科 学 学 科	15	719	397	322	712	391	321	219	113	106	3.3		
		食 料 環 境 政 策 学 科	16	515	268	247	514	267	247	132	63	69	3.9		
		計	55	2,551	1,325	1,226	2,535	1,311	1,224	693	340	353	3.7		

経営学部	3科目方式	経営学 会計学 公共経営学	30	1,789	1,196	593	1,785	1,192	593	395	243	152	4.5
	4科目方式	経営学 会計学 公共経営学	25	711	470	241	710	469	241	252	151	101	2.8
	計		55	2,500	1,666	834	2,495	1,661	834	647	394	253	3.9
情報コミュニケーション学部	3科目方式	情報コミュニケーション学	30	1,546	756	790	1,533	747	786	256	120	136	6.0
	6科目方式	情報コミュニケーション学	10	368	198	170	368	198	170	84	45	39	4.4
	計		40	1,914	954	960	1,901	945	956	340	165	175	5.6
国際日本学部	3科目方式	国際日本学	20	1,270	357	913	1,270	357	913	247	70	177	5.1
	4科目方式	国際日本学	10	337	97	240	336	96	240	116	32	84	2.9
	計		30	1,607	454	1,153	1,606	453	1,153	363	102	261	4.4
総合数理学部		現象数理学	6	221	163	58	220	162	58	39	29	10	5.6
		先端メディアサイエンス学	9	364	239	125	360	236	124	52	28	24	6.9
		ネットワークデザイン学	4	215	169	46	205	161	44	39	29	10	5.3
	計		19	800	571	229	785	559	226	130	86	44	6.0
前期日程 小計			690	32,466	20,921	11,545	32,308	20,797	11,511	8,731	5,570	3,161	3.7

学入試センター試験利用入学試験 (後期日程)	学部・方式・学科(専攻)		募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者/合格者
				計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	
商学部	商学		25	208	132	76	200	128	72	80	51	29	2.5
理工学部	電気電子生命学	電気電子工学	1	31	26	5	31	26	5	3	3	0	10.3
		生命理工学	1	33	22	11	33	22	11	3	2	1	11.0
	機械情報工学		1	44	40	4	43	39	4	5	5	0	8.6
	建築学		1	36	24	12	36	24	12	5	4	1	7.2
	応用化学		1	28	18	10	28	18	10	6	5	1	4.7
	情報科学		1	51	43	8	51	43	8	3	3	0	17.0
	数学		1	29	23	6	28	22	6	2	2	0	14.0
	物理学		1	26	22	4	25	21	4	3	3	0	8.3
計			8	278	218	60	275	215	60	30	27	3	9.2
総合数理学部	現象数理学		1	39	29	10	37	27	10	11	7	4	3.4
	先端メディアサイエンス学		1	45	30	15	45	30	15	11	6	5	4.1
	ネットワークデザイン学		1	30	23	7	30	23	7	2	2	0	15.0
	計		3	114	82	32	112	80	32	24	15	9	4.7
後期日程 小計			36	600	432	168	587	423	164	134	93	41	4.4
大学入試センター試験利用入学試験 合計			726	33,066	21,353	11,713	32,895	21,220	11,675	8,865	5,663	3,202	8.1
一般入試総計			4,665	113,507	74,353	39,154	108,162	70,823	37,339	22,854	15,276	7,578	4.7

#### (4) 業種別就職状況及び主な就職先

##### ①業種別就職状況



##### ②主な就職先

順位	内定先名称	人数
1	(株)みずほフィナンシャルグループ	88
2	東京特別区	59
3	損害保険ジャパン日本興亜(株)	51
4	三井住友海上火災保険(株)	48
5	(株)三菱東京UFJ銀行	47
6	国家公務員 一般職	44
7	日本郵政グループ	40
8	JTBグループ【旅行事業会社群】	35
8	(株)ワークスアプリケーションズ	35
10	明治安田生命保険(相)	32
11	(株)三井住友銀行	31
12	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	29
13	東京都庁	25
13	東日本旅客鉄道(株)	25
15	りそなグループ	24
16	(株)大和証券グループ本社	23
17	野村證券(株)	21
18	アクセンチュア(株)	19
18	SMBC日興証券(株)	19
18	キヤノン(株)	19

順位	内定先名称	人数
18	全日本空輸(株)	19
18	日本電気(株)	19
18	パナソニック(株)	19
18	富士通(株)	19
18	三菱電機(株)	19
18	三菱UFJ信託銀行(株)	19
27	ソフトバンクグループ(株)	18
27	横浜市役所	18
29	オリンパス(株)	17
29	KDDI(株)	17
29	埼玉県庁	17
29	(株)千葉銀行	17
29	中央労働金庫	17
34	東日本電信電話(株)	16
34	本田技研工業(株)	16
36	住友生命保険(相)	15
36	東京海上日動火災保険(株)	15
36	凸版印刷(株)	15
36	(株)日立製作所	15
40	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	14

2017年3月31日現在